

4月2日

【パツムカレ】ローマ帝国の都市（ヒエラポリス）があった丘陵地は、温泉が湧き、石灰華を形成・・・世界遺産



都市全景図



現況：手前は温泉水を流す水路



斜面下部からの全景

・・・上空に気球。風のない日のみ上がるそうであるが、結構事故が多い模様。



丘陵肩部に石灰華を形成



石灰華の様様：道路の石張模様に似ている



同左、微細な石灰棚を形成する領域



大きな石灰棚：近くの街で温泉水として利用するようになってから衰退。現在は流量を調整しており、昔のような写真は撮れない。

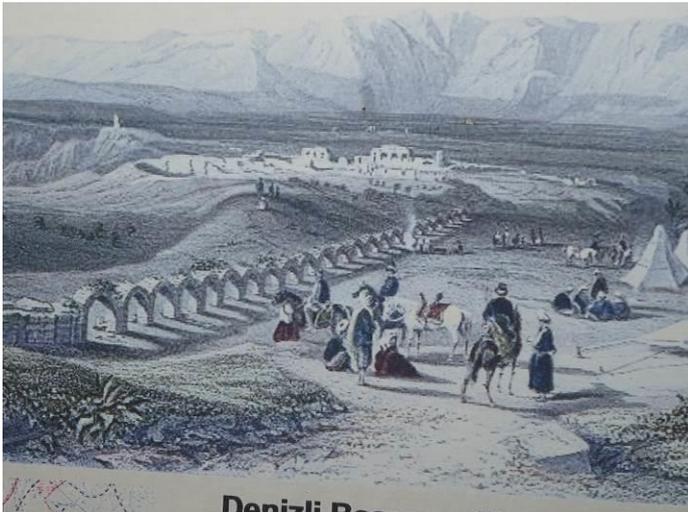


水を止められ、枯れた石灰棚



人気のない西側斜面では、水をたたえていた…

【ラオデギ遺跡】…ヒエラポリス近くの遺跡で、現在発掘作業中



復元図



復元作業中



水がないため、遠方より水道橋で供給



同左、分岐点における配管設置状況（円内）



施設内の配管



教会跡のモザイクタイル：絨毯を模した？



競技場（短距離走，戦車競技）の原形？ 斜面は観客席
…赤い花はケシ。ジャムに使う程度とのこと



農業機械による散水状況
巨礫の多い畑は鋤（5連，リレー？式）で耕していた



水路による灌漑（階段状）



ビニールハウスによるイチゴ栽培
…ハウス手前は鉄道（単線）

【カクルク洞窟】…2000年に発見された小さな鍾乳洞（地上より10m程度）



サービスエリアでの洗車風景（人力）



付近の集落



温泉？プール付のアパート



パトカー